

月刊 各務原市議会議員 大竹 大輔

— いつまでも住み続けたいまち かかみがはら! —

# バンブーレター

令和  
7年

5月号

発行人  
大竹大輔を育てる会



新緑が芽吹き、自然の活力を肌で感じます。



新緑が美しく、心地よい風が吹き抜ける5月を迎えました。皆さまにおかれましては、いかがお過ごしでしょうか。今年度もスタートしてはや一ヶ月が経ち、新しい生活や環境にも少しずつ慣れてきた頃かと思います。

市政においても、新年度の予算が本格的に動き始め、市民の皆さまの暮らしを支える取り組みが進行中です。私自身も、市民皆さまの声を丁寧に受け止め、議会の場などでしっかりと届けてまいります。

さて、先月は各務原市長選挙が行われ、浅野市政も4期目を迎えることとなりました。選挙期間中は、私自身も地域の皆さまと意見交換や様々な現場で声を伺う機会を多くいただき、改めて二元代表制の一翼を担っていることを再認識させていただきました。



今後も、地域の課題を一つひとつ丁寧に捉えながら、市民の皆さまとともに、「いつまでも住み続けたいまち、かかみがはら!」に向け活動してまいります。

季節の変わり目で体調を崩しやすい時期もありますので、どうかご自愛のうえお過ごしください。

今月もどうぞよろしくお願ひいたします。

## 市政を問う！～一般質問～



令和7年3月6日から28日までの23日間の会期にて、令和7年第1回各務原市議会定例会が開催されました。改選後、初めてとなる定例会は、定数の3分の1が新人議員となり、より緊張感のある定例会となりました。

今回の定例会では、公園の利活用について、質問させていただきました。

問：公園利用に伴う地域からの要望はどういったものがあり、どのように対応しているか。また、子どもたちがボール遊びなどができる環境整備の考えは。

答：公園利用に伴う地域からの要望は「ボールの飛び込みを防止するフェンスを設置して欲しい」や「健康遊具を設置して欲しい」、「駐車場を整備して欲しい」などがありますが、これらの要望に対しては、公園の広さや遊具の配置状況、周辺環境などから実現の可能性を判断するとともに、その実施については、公園のリニューアルや施設更新のタイミングで対応しています。

ボール遊びに関しては、昨年度実施した鵜沼朝日地区でのアンケート調査やワークショップで最も意見が多く、子どもたちや地域にとって関心の高い要望であると認識しています。

しかしながら、ボール遊びの中でもキヤッチボールやサッカーなどの球技は、時に、ほかの利用者へ危険が及ぶことや隣接する住宅に飛び込むことが迷惑となるため、公園ではやわらかいボール以外でのボール遊びを禁止としています。

また仮に、要望に応えてフェンスを設置したとしても、かえってボールの扱いが乱暴になり、危険や被害が大きくなる場合もあることから、この対応についても慎重に判断する必要があります。

鵜沼朝日地区での防球ネットの設置事例は、地域住民の要望を受けて設置しましたが、実際にはボール遊びへの否定的な厳しい意見があり、あらためて近隣住民の意見を集約し、見直し案の合意形成を図ることでようやく実現可能となつたものです。このように、公園でのボール遊びができる環境整備には、施設整備や安全性の確保だけではなく、地域住民のご理解・ご協力が不可欠であり、地域の皆さまが集い笑顔となる公園づくりを目指していきたいと考へております。

また、要望実現のために必要な諸条件をあらかじめお示しするなどして、地域内での話し合いが公園づくりに活かされるような取り組みについても研究してまいります。

※詳細については、大竹大輔ホームページをご覧ください。



